

2012年(平成24年) 5月1日 発行

Le Engagement

NPO法人アンガージュマン・よこすか

発行所：〒238-0017神奈川県横須賀市上町2-4 電話：046-801-7881
http://engagement.angelicsmile.com/ 発行責任者：滝田衛 編集責任者：石井利衣子
http://blog.canpan.info/engagement/(ブログ) engagement@angelicsmile.com(メール)

第99号

2012年5月のアンガージュマンの予定

利用は会員となり、フリースペース、キックオフプロジェクト、相談・コーディネート、学習サポート等をお選び下さい。まずは電話などでお問い合わせ下さい。見学も大歓迎!

月(Mon)	火(Tue)	水(Wed)	木(Thu)	金(Fri)	土(Sat)	日(Sun)
カレンダーの見方 amは10:30~ pmは1:30~ ※は閉室の印ですが 事業により行います	1 ※	2 ※	3 ※	4 ※	5 ※	6 ※
7 学習サポート	8 学習サポート	9 12:00 昼食会(300円) 学習サポート	10 学習サポート	11 am 農業体験(長井) 山形物産市(はるかぜ書店前) 学習サポート	12 ※	13 保護者会 14:00~16:00
14 学習サポート	15 野球観戦@横須賀スタジアム 学習サポート	16 12:00 昼食会(300円) 学習サポート	17 学習サポート	18 学習サポート	19 ※	20 ※
21 学習サポート	22 学習サポート	23 12:00 昼食会(300円) pm ボランティアミーティング リエゾン団 山形物産宅配 学習サポート	24 学習サポート	25 am 農業体験(長井) 学習サポート	26 ※	27 ※
28 am お菓子作り 学習サポート	29 学習サポート	30 12:00 昼食会(300円) 学習サポート	31 学習サポート	5/1~5/6までは移転作業のため、あばうと・ネクストはお休みです。 あばうとの開室時間は10:00~16:00です。		

5月1日以降の連絡先

住所：神奈川県横須賀市上町2-4(変更なし)

アンガージュマン・よこすか 電話：046-801-7881

FAX：046-801-7882

メール：engagement@angelicsmile.com

はるかぜ書店 住所：神奈川県横須賀市上町2-4

電話：046-804-7883(変更なし)

今年度の事業について

会員の皆様、支援者の皆様にはいつもお世話になっています。はるかぜ書店の移転に伴い、様々なご迷惑をお掛けしております。また、方々よりご心配の声をいただきました。遅ればせながら、今年度の事業についてご説明致します。その前にこれまでの経緯と現在の事業は…

はるかぜ書店(就労支援講座：キックオフプロジェクト)

2004年の開設当初よりフリースペース、学習サポート、就労支援講座、相談・カウンセリングを行い、2006年より就労支援店舗はるかぜ書店を開きました。就労支援講座は当初、座学として販売士3級受験講座と近所のお宅の掃除や草刈りなどのちょっとした頼まれ事や県内の商店街への出張販売等の現場研修によって始まりました。ただし、現場研修は常に仕事があるわけではありませんでした。そこに、はるかぜ書店の前経営者より譲渡の申し出があり、当時の研修生たちで開店しました。かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金を得たことも大きな理由になります。現在は、はるかぜ書店及びharucafeが毎日開店しているため、常に現場研修を行うことが出来ます。

フリースペース・あばうと アンガージュマンの中心はフリースペース・あばうとです。スタッフ、利用者、支援者の別なくアンガージュマンに関わる全ての人はフリースペースに集まります。学習しに来る子どもたちもフリースペースでちょっと一休み、研修で来る若者たちもここで昼休みを取ったり、他の人たちとコミュニケーションを学ぶ場です。開設以来、ゆっくりと流れる時間、ゆったり出来る雰囲気の間と多くの方が認める場所です。

学習サポート・ネクスト 一対一で学習を通じて自己を高める場として開設以来大切にされています。昨年度からはフリースペースを有効に使い、多様な授業を展開しています。また、授業時間以外でも、多くの人たちと関わりながら子どもたちは成長していきます。

相談・カウンセリング 子育てに悩む親だけでなく、悩める若者の相談の場としても開設以来利用されています。相談に終始するわけではありません。フリースペースなど他の事業も行っているアンガージュマンならではの、相談の出口が用意されています。

今年度の事業～はるかぜ書店移転の経緯

さて、この半年間スタッフで議論されたのはこれまでやってきた事業の見直しでした。全ての事業をなくさない、継続すべきということがスタッフの総意です。利用者のニーズが無くならない限り、事業は全て継続していく所存です。さて、事業の見直しについてですが、毎月かかる経費のうち最も大きく占めるものが給与等の人件費です。これは昨年度もお伝えしたとおり、4分の1程にしました。それでも足りず現在まで無給としてしのいでおります。さすがに無給では事業の継続は困難なため、今年度は昨年度初め並みに戻す予定です。次に大きな経費は家賃です。理事会では書店かフリースペースのどちらか一か所にまとめる、という議論をしてきましたが、書店の家賃の方が安いという点からフリースペースを引き払うということで決定しました。しかしその後、フリースペースの大家さんとの交渉の結果、フリースペース一か所に事業をまとめて行くことになりました。スタッフも少なくなりましたが、一か所にまとまることで、より一丸となって事業を進めていくことができることでしょうか。

会員・支援者の皆様の協力をお願いします

今後もしばらくはご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。バタバタとして至らないことも多々あります。現在のスタッフでは力不足かもしれません。しかしながら、「思い」だけは誰も失ってはいません。皆様の協力なくては事業の継続は難しいでしょう。今後は会員の皆様と一緒に事業を進めていきたいと考えています。6月8日の通常総会では世代交代の議論が中心になるでしょう。議事ではありませんが、みなさんに集まっていただいて、今後の事業について話し合いをする機会にもしたいと考えています。どうぞご予定に入れていただき、アツク語り合いたいと理事・スタッフ一同お待ち申し上げます。
(副理事長：島田徳隆)

長野へ旅立った安倍さんからのメッセージ☆

こんにちは、あんばんいです。

突然ですが、あんばんいはこの度アンガージュマンを退職することとなりましたので、その経緯を含め、ご挨拶させていただけたらと思います。

今年初め、あんばんいは新年会と称していつものように呑んでくれておりました。

新年だしね、めでたいしね、いいよね、と自分に言い聞かせつつ呑んでくれる日々（いつも通りですね）。が、途中から自分の体調の異変に気付き始めます。

まず、眠い！

一日10時間以上睡眠時間を確保したにもかかわらず、昼夜問わずひたすら眠い。

あばうとでも寝てしまうんじゃないかという眠さ。（実際寝てたかも）。

そして、年明け前はものすごくあったのに、年を明けてみるみる減退して行く食欲。

眠気と食欲減退で、ついに冬眠体制に入ってしまったのかと多少の焦りを感じ始めたころ、ふと気付いたのです。

「あれ？もしかして妊娠しているんじゃないか？」

そう思い始めるとどんどんそんな気がしてきて、ついには吐き気まで模様してきちゃったりなんかして。

そして1月下旬の某日、妊娠が確定したのです。

そこからは怒涛の日々でした。

旦那は長野にいますので長野に行く算段をつけ、アンガージュマンの皆様へ報告をし、父親の手術が終わるのを待って両親に報告をし、そうしている間にもどんどんひどくなっていくつわり。

ぎりぎりまで頑張ろうかとも思ったのですが、ついには水も飲めず点滴に頼る日々で、その節はネクストの子どもたちや講師の先生、アンガージュマンの方々がたくさんご迷惑をおかけしました。

現在は落ち着いて、ちょこちょこアンガージュマンに顔を出させてもらっています。

まあ、この原稿を書いている次の日には、長野に引っ越しなのですが…

横須賀に引越し、アンガージュマンに来始めたのは去年の7月のことでした。

はじめは誰がスタッフなのか、何をしたらいいのか、まったくわからないままなんとなく過ぎていく日々でした。

その中で、様々な人、子ども達と触れ合い、自分は何がしたいのか、どうして行きたいのか、ちょっとずつじっくりと考えさせられる時間だった気がします。

アンガージュマンにいた時間は短かったですが、子ども達からは日々移ろう気持ちやその時その時の真剣な思いが伝わってきましたし、そんな子どもたちを日々眺めているのは本当に興味深く、楽しかったです。

そんなわけで、あんばんいはめでたく(?) アンガージュマンを寿退社いたします。

アンガージュマンにいた時間は間違いなく自分にとっては必要な時間だったと思います。

バタバタとご迷惑をかけっぱなしで本当にすみませんでした。

ありがとうございました。

(安倍千央)

ボランティアミーティング 究極のボランティア!?

今年度最初のボランティアミーティングには、3月から顔を出してくれている鈴木さんが初参加してくれました。鈴木さんが活動しているのは「あばうと」。スタッフに「いるだけでいいよ」といわれ、多くの説明を受けず、日々子どもたちとかかわってくれています。子どもたちと「どうしてかかわった方がいいのか」を考えたところ、「自然体でいよう」というのが結論。子どもたちとの距離感もとれ、今は発見もあり、楽しいとのことでした。「あばうと」での活動は、究極のボランティア活動といえます。関わってくれる方の主体性が問われます。しかし積極性が必ずしも子どもたちに受け入れるとは限りません。先輩からは「無理せず、続けていくこと」とのアドバイスもあり、笑顔で受け止めていました。子どもたちとともに一歩一歩、お互いに変容を感じることであればと思います。

(石川隆博)

2012年度 各事業担当者

【あばうと】島田徳隆 石井利衣子
 【ネクスト】島田徳隆 石井利衣子
 【キックオフ】石川藍 三浦恵子
 【相談・カウンセリング】滝田衛

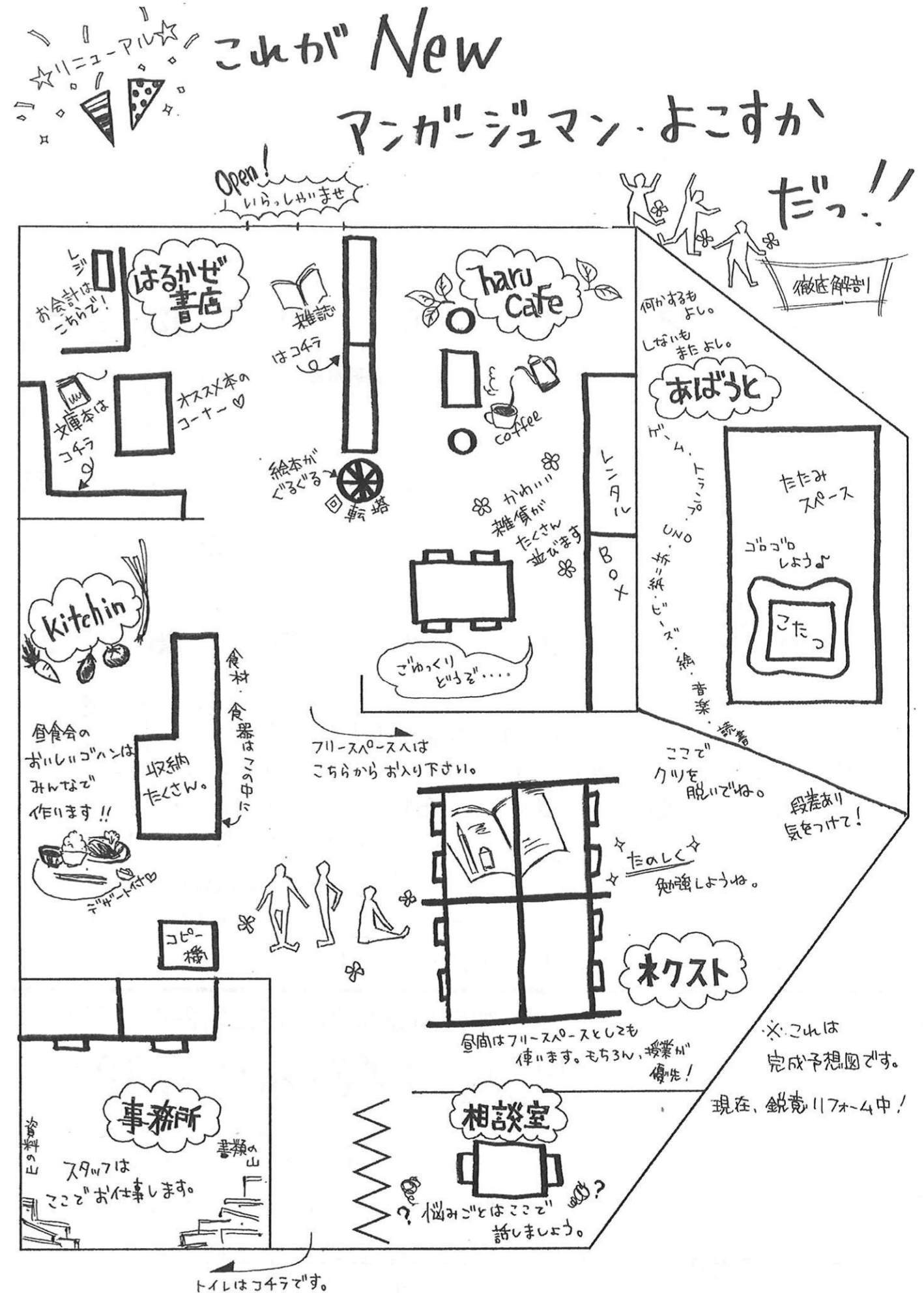
管理・運営事務・ボランティアマネジメント

石川隆博
 伊藤一機

5月のボランティア募集

参加希望の方はご連絡下さい。
 TEL 046-801-7881

イベント	日付	定員	主な活動内容
フリースペース	土日祝日除く	5名	話やゲームの相手、ともに過ごす
物産市	5/11	3名	物品販売、品物陳列、チラシ配布
物産宅配	5/23~25	3名	検品、仕分け、梱包、配達
昼食会	5/9, 16, 23, 30	3名	調理、盛りつけの補助
通信発送作業	5/30	3名	通信の折り、封入、封止め
下校時の防犯	平日14:40~16:00	2名	町内の巡回、見守り



※これは完成予想図です。
 現在、鋭意11月4日中!